

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：哲学 ILAS Seminar :Philosophy I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 戸田 剛文		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水2	教室	教育院棟演習室21			使用言語	日本語
キーワード	哲学 / 倫理						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
【授業の概要・目的】							
<p>動物の権利についての書かれたテキストを読み、人間と動物の関係について考えてみる。身近なテーマを手掛かりに、自分たちが普段考えていることを明確化したり、批判的に検討したりできるようにする。</p> <p>担当者を決めて発表してもらおう。</p> <p>ただし、参加者との話し合いによってテーマを変えていくことはある。</p> <p>テキストは Animal Rights: A Very Short Introduction (Very Short Introductions) by David DeGrazia を読む。</p>							
【到達目標】							
<p>身近なテーマを用いることにより、普段、当然のように考えている概念がいかなるものであるのかを考察することで、常に深く考える思考力を身につける。また英語で哲学書を読むことになれる。</p>							
【授業計画と内容】							
<p>基本的にテキストの内容を発表・紹介し、理解を深める形式をとる。それによって動物の道徳的地位に関する問題について考えていくようになってもらう。</p> <p>読解自体は第二章から進める。第一章の内容は、こちらで授業中に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 第一章の内容の解説 3-14. テキストの各章の内容の発表 15. フィードバック <p>途中で調べ物や、議論などを含めることがあるため、どこまで進むかは状況による。</p>							
【履修要件】							
特になし							
----- ILASセミナー：哲学(2)へ続く -----							

ILASセミナー：哲学(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点

基本的に予習をしっかりしているかどうか、テキストを読んできているかどうかは成績の中心部分となる。あとは、授業中の発言などを加味する。詳細は初回授業で説明する。

[教科書]

David DeGrazia 『Animal Rights: A Very Short Introduction』 (Oxford, 2002) ISBN:9780192853608
電子書籍版を利用しても良い

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

講義に関連のある書籍などを読みつつ、自分なりに問題に対して考えてください。

[その他(オフィスアワー等)]

積極的な発言を求めます。